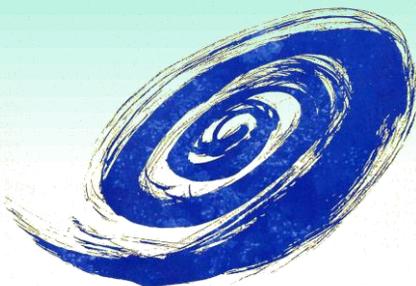


UMIN

SINCE 1989



大学病院医療情報ネットワーク研究センター

University hospital Medical Information Network

Infrastructure for Academic Activities

<http://www.umin.ac.jp/>

UMINは、国際的にも類例のない、大規模かつ多機能な公的研究教育情報ネットワークに成長し、日本における医学研究教育活動の重要な情報インフラストラクチャーとして日々の研究教育活動に不可欠の存在となっています。

昭和63年（1988年）東京大学医学部附属病院中央医療情報部内に開設

昭和64年（1989年）N1プロトコルによる情報サービス開始

平成6年（1994年）インターネットによる情報サービス開始

平成9年（1997年）UMIN医療・生物学系電子図書館サービス開始

平成11年（1999年）国立大学病院VPN(UMIN-VPN)稼動

平成12年（2000年）インターネット医学研究データセンター（INDICE）開設

平成14年（2002年）東京大学医学部附属病院内に大学病院医療情報ネットワーク研究センターを独立設置

平成16年（2004年）UMIN運営委員会を、国立大学附属病院長会議常置委員会UMIN協議会に改組
オンライン卒後臨床研修評価システム（EPOC）運用開始

平成17年（2005年）UMIN臨床試験登録システム（UMIN-CTR）運用開始

平成18年（2006年）オンライン歯科臨床研修評価システム（DEBUT）運用開始

平成21年（2009年）INDICEにCDISC ODM形式での症例データ取り込み機能の提供開始
会員制HPサービスにWiki, Blog, BBS機能追加（UMIN 2.0）
UMIN 20周年記念式典・記念講演会開催

平成23年（2011年）UMINクリニカルカンファランスシステム（UMIN CC）の運用開始

平成25年（2013年）UMIN臨床試験登録システム（UMIN-CTR）に
個別症例データレポジトリサービス（UMIN-ICDR）の機能を追加

平成29年（2017年）UMIN-CTRにCDISC CTR-XML形式でのデータ登録機能の提供開始
INDICEに研究者自身で画面設計ができるクラウド版の機能を追加

UMINのサービスを利用するためには、UMIN IDの取得が必要となります。
利用資格に基づいてオンライン申請をしてください。

個人用UMIN ID・パスワードは、原則として1人に1つの発行としており、ご取得後は一部利用権限の付与が必要なものを除いてUMINが運用する全てのサービスをご利用いただけます。
INDICE(インディース:インターネット医学研究データセンター)だけは、セキュリティの都合上別途専用のパスワード(UMIN IDに対し一般用PWとINDICE用PW)をご取得頂く必要があります。
他にも団体代表用、企業用等のUMIN IDがございますので、詳細は、下記URLをご参照ください。

<http://www.umin.ac.jp/id/uminid/touroku00.htm>

問い合わせフォーム

<http://www.umin.ac.jp/faq/>

FAX

03-5689-0726

1. CDISC標準によるデータ収集サービス

CDISC標準によるデータ収集サービスの受付を開始いたしました(平成21年10月19日(月)より)

2. UMIN INDICE Lower level data communication protocol of for CDISC ODM

医療機関側から電子カルテやEDC等のシステムから電子的に臨床試験データを自動送付する場合の受信側の仕様を公開しています(平成25年7月5日より)

3. 法医学データベースシステム

平成23年度科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金(挑戦的萌芽研究))により「CDISC標準を活用した死体検案書の施設別及び全国集計データベースの構築」を実施いたしました。本事業において各施設で稼働する死体検案書などのWindows版のCDISCクライアントソフトウェアを開発しました。これにより、各施設のデータ登録が容易になり、わが国の異状死体の法医学的分析が効率よく行えるようになり、日本全体の死因究明の精度向上を図ることができるようになります。(※本システムはLegal Medicine誌に掲載されております。)

4. UMIN-CTR

UMIN-CTRの試験情報登録にCDISC CTR-XML形式での試験情報登録機能を実装しました。国際標準規格であるCDISC標準形式をサポートしたことから他の機関との情報連携が容易になります。(2017年より)

 **UMIN-CTR**

UMIN臨床試験登録

UMIN Clinical Trials Registry

<http://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm>

UMINが提供するInternational Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) の基準を満たす臨床試験登録システムです。UMIN-CTRはICMJEの”acceptable registry”として認められており、WHO International Clinical Registry Platform における日本のプライマリレジストリであるJapan Primary Registries Network のひとつです。国内の臨床試験登録件数のうち85%以上がUMIN-CTRに登録されています。

平成21年4月1日より施行されている「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の記述中の「国立大学附属病院長会議」が設置しているデータベースがUMIN-CTRをさしており、研究の実施前に研究計画の概要を、研究終了後には研究結果を登録することが求められています。

UMIN-CTRでは試験情報登録にCDISC CTR-XML形式での登録も受け入れており、他の機関との情報連携が容易になっています。



平成30年12月26日時点で **34,821** 件の登録があります。

 **UMIN-ICDR**

UMIN症例データレポジトリ

UMIN Individual Case Data Repository

<http://www.umin.ac.jp/icdr/index-j.html>

症例データレポジトリシステムは、UMIN臨床試験登録システムの機能追加の形態で実装されています。このシステムは、研究者が自身の実施した臨床研究について、匿名化した個別症例データセットを、研究者自身の同意のもとにUMINサーバに保管し、UMINがその内容を第三者に担保するものです。下記のような効果が期待できるため、近年国際的にもリポジトリの重要性が認識されてきていますが、UMINでは世界に先駆けて設置しました。

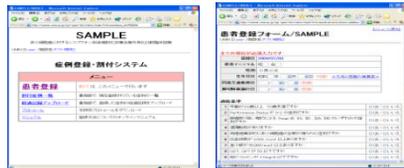
- 1. 研究データの捏造・改竄のチェック
- 2. 研究者(研究資金提供者も含む)にとって都合の悪い統計解析結果の隠蔽の防止
- 3. データ解析の再現性の確保





臨床試験、疫学研究、症例登録等の医学研究データ収集(症例登録割付を含む)をインターネット経由で行うためのシステムです。

UMINのサーバ及び独自開発の医学研究データ収集用ソフトを研究プロジェクト毎にカスタマイズしてご提供する、いわゆる電子症例報告書です。平成21年10月より、CDISC標準に対応しました。



- 1) **安価** 共同利用のため、安価にサーバ・データ収集用パッケージソフトウェアが利用可能です。
- 2) **安心** 約250研究プロジェクト、累積症例登録数約608万例(平成30年12月)と充分な運用実績があります。
(* NCDの収集症例数は含みません)
- 3) **安定** 専門のシステムエンジニアが日夜運用管理・保守を行ない、安定稼働に努めています。
- 4) **安全** ファイアウォール、暗号通信、侵入検知等のセキュリティ対策を行っています。
- 5) **安楽** ハード運用管理、ソフト開発・設定・保守、セキュリティ管理は、すべてUMINで行います。
約46万人分の医療関係者のUMIN IDを症例データ入力のためにご利用になれます。
- 6) **CDISC標準対応** 臨床研究データの交換標準であるCDISC標準(ODM形式)での症例登録に対応しました。

2017年より、INDICEの機能を研究者自身によりカスタマイズし、独自の電子症例報告書を運用できるサービスであるINDICE Cloudもあわせて提供しています。INDICE Cloudで運用される研究プロジェクトには、UMINによるソフトウェア開発やサポートはありませんが、無料で利用可能であり、症例数が少ないプロジェクトでもご利用いただくことができます。サーバーはUMINで管理しますので安全で安定しています。



EPOC (エポック)

オンライン卒後臨床研修評価システム Evaluation system POstgraduate Clinical training <http://epoc.umin.ac.jp>

1. 協力病院・施設からもリアルタイムアクセス
2. 研修医・指導医相互評価
3. メールによる評価依頼機能
4. コメディカル評価に対応
5. 自動集計機能により評価のグラフ化
6. 評価データのCSVデータダウンロードが可能
7. 評価データ多面的解析が可能で研修プログラムの改善に役立つ
8. 評価データの紛失防止と無期限保存

基本運用の流れ



Standard

- 研修診療科毎に評価記録を残せる
- 指導医評価が可能
- 研修施設評価が可能

Minimum

- 多機能のStandardから機能を最低限に絞った入門版
- EPOCの導入が容易に行えます



DEBUT (デビュー)

オンライン歯科臨床評価システム Dental training Evaluation and taBUlation sysTem <http://debut.umin.ac.jp>

DEBUTシステムの特長

- インターネット接続環境があればどこでも使用出来ることから、汎用性に優れている。
- 研修プログラムごとに評価項目のカスタマイズが可能である。
- 研修歯科医と指導歯科医から、双方向で臨床研修プログラムに関するフィードバックが可能である。

DEBUTシステム導入により期待できる効果

- 歯科医師臨床研修カリキュラムにおける目標、方略、評価の三要素が完成し、臨床研修の質の向上が期待できる。
- 研修歯科医と指導歯科医からの研修プログラムに対する双方向の評価(フィードバックシステム)を活用することによって、より良い研修プログラムの策定など臨床研修体制の改善に向けて期待できる。





1. 演題抄録・学術雑誌論文の電子投稿・査読

⇒省力化と迅速化が可能です。

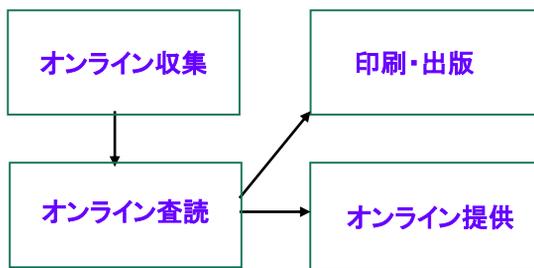
2. 文献書誌データベースの早期自動作成

⇒研究者の便宜をはかります。

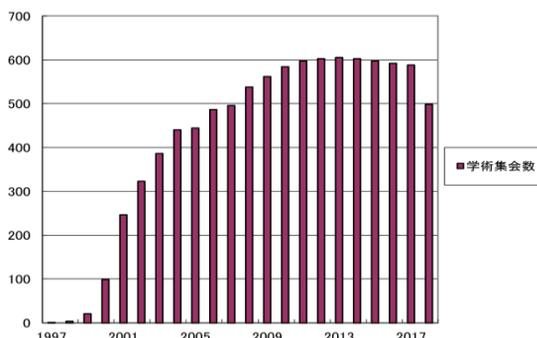
3. 低コスト運用

⇒共通システムですべての学術集会、

雑誌に対応



年度別利用学術集会数



会員名簿と会員制HPアクセス権・会員メーリングリストメンバーの連動

会員名簿(グループメンバー)管理
会員名簿検索システム(OASIS)

会員メーリングリストサービス利用(OASIS/ISLET)

- ・メーリングリストアーカイブス

会員制HPサービス利用(OASIS/ISLET)

- ・会員専用HP (HTMLファイル)
- ・会員専用Wiki (PukiWiki/MediaWiki)
- ・会員専用BBS(電子掲示板)
- ・会員専用Blog



図: PukiWiki



図: BBS



図: Blog

主要利用学会

- 日本血栓止血学会
- 日本臨床リウマチ学会
- 日本心療内科学会
- 日本排尿機能学会
- 日本呼吸器外科学会
- 日本フットケア学会
- 日本臨床神経生理学会
- 日本内分泌学会
- 日本小児循環器学会
- 日本核医学技術学会
- 日本病理学会
- 日本心臓血管外科学会